



2018年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2018年2月8日

上場会社名 古河機械金属株式会社
 コード番号 5715 URL <http://www.furukawakk.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮川 尚久

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 三影 晃

TEL 03-3212-7021

四半期報告書提出予定日 2018年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年3月期第3四半期の連結業績(2017年4月1日～2017年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年3月期第3四半期	122,530	14.4	6,286	54.3	7,292	43.4	4,282	31.3
2017年3月期第3四半期	107,093	12.5	4,073	31.6	5,086	7.5	3,261	10.0

(注) 包括利益 2018年3月期第3四半期 9,726百万円 (41.6%) 2017年3月期第3四半期 6,869百万円 (167.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年3月期第3四半期	106.00	
2017年3月期第3四半期	80.71	

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2018年3月期第3四半期	223,338	87,268	38.2
2017年3月期	208,034	79,584	37.3

(参考) 自己資本 2018年3月期第3四半期 85,227百万円 2017年3月期 77,658百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年3月期		0.00		5.00	5.00
2018年3月期		0.00			
2018年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い2018年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 2018年3月期の連結業績予想(2017年4月1日～2018年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	165,000	10.1	8,000	22.2	8,500	18.0	5,000	17.5	123.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。これに伴い2018年3月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2018年3月期3Q	40,445,568 株	2017年3月期	40,445,568 株
期末自己株式数	2018年3月期3Q	41,858 株	2017年3月期	41,293 株
期中平均株式数(四半期累計)	2018年3月期3Q	40,404,029 株	2017年3月期3Q	40,405,388 株

2017年10月1日を効力発生日として普通株式10株を1株の割合で株式併合を実施しております。期末発行済株式数、期末自己株式数および期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 将来に関する記述等についてのご注意

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) 株式併合後の配当及び連結業績予想について

当社は、2017年6月29日開催の第150回定時株主総会において、2017年10月1日を効力発生日とする当社普通株式10株につき1株の割合での株式併合および1,000株を100株とする単元株式数の変更を含む定款の一部変更が承認可決されております。これに伴い、株式併合を考慮しない場合の2018年3月期の配当予想および連結業績予想は以下のとおりです。

- ア. 2018年3月期の配当予想
- | | |
|--------------|-------|
| 1株当たり配当金(期末) | 5円00銭 |
|--------------|-------|
- イ. 2018年3月期の連結業績予想
- | | |
|----------------|--------|
| 1株当たり当期純利益(通期) | 12円38銭 |
|----------------|--------|

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
2018年3月期 第3四半期決算短信 補足資料	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2017年4月1日～同年12月31日)の我が国経済は、企業収益は改善し、設備投資は合理化・省力化投資などを中心に持ち直しの動きがみられるほか、海外経済の回復等を背景に企業の生産活動は増加基調で推移するなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済環境の下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,225億30百万円(対前年同期比154億36百万円増)、営業利益は、62億86百万円(対前年同期比22億13百万円増)となりました。売上高は、主として、ロックドリル、金属部門で増収となり、営業利益は、主として、産業機械、ロックドリル、化成品部門で増益となりました。

各報告セグメントの売上高と営業利益の状況は、以下のとおりです。

産業機械部門の売上高は、99億51百万円(対前年同期比8億45百万円増)、営業利益は、1億71百万円(前年同期は2億94百万円の損失)となりました。ポンププラントは、受注が振るわず減収となりましたが、橋梁および東京外環自動車道工事向けベルトコンベヤについては、出来高に対応した売上を計上し、増収となりました。

ロックドリル部門の売上高は、223億80百万円(対前年同期比38億88百万円増)、営業利益は、14億22百万円(対前年同期比9億8百万円増)となりました。国内向けは、トンネルドリルジャンボの出荷が増加し、また、油圧ブレーカの需要が増加したことから、増収となりました。海外向けは、堅調な海外経済を背景に、主として、欧米市場において油圧クローラドリル、油圧ブレーカの出荷が増加し、増収となりました。

ユニック部門の売上高は、205億14百万円(対前年同期比19億83百万円増)、営業利益は、18億54百万円(対前年同期比99百万円増)となりました。国内向けは、2017年9月実施のトラック排ガス規制対応前の駆け込み需要により、主力製品であるユニッククレーンの出荷が増加し、増収となりました。海外向けは、主として、欧米市場においてミニ・クローラクレーンの出荷が増加し、増収となりました。

産業機械、ロックドリルおよびユニックの機械事業の合計売上高は、528億46百万円(対前年同期比67億17百万円増)、営業利益は、34億48百万円(対前年同期比14億72百万円増)となりました。

金属部門の売上高は、571億73百万円(対前年同期比74億53百万円増)、営業利益は、14億2百万円(対前年同期比1億65百万円増)となりました。電気銅は、海外相場の上昇により増収となりましたが、電気金は、生産数量の減少に伴い減収となりました。

電子部門の売上高は、46億35百万円(対前年同期比3億24百万円増)、営業利益は、2億16百万円(対前年同期比2億16百万円増)となりました。主力の高純度金属ヒ素は、販売数量の増加により増収となりましたが、販売単価の回復にはいまだ至っておりません。

化成品部門の売上高は、47億48百万円(対前年同期比8億76百万円増)、営業利益は、3億43百万円(対前年同期比3億23百万円増)となりました。亜酸化銅は、主要用途である船底塗料の需要が増加し、増収となりました。

金属、電子および化成品の素材事業の合計売上高は、665億57百万円(対前年同期比86億53百万円増)、営業利益は、19億62百万円(対前年同期比7億5百万円増)となりました。

不動産事業の売上高は、24億33百万円(対前年同期比1億28百万円増)、営業利益は、10億41百万円(対前年同期比84百万円増)となりました。賃貸ビルの空室率改善や主力ビルである室町古河三井ビルディング(商業施設名: COREDO室町2)の順調な稼働により、増収となりました。

当第3四半期累計期間の経常利益は、72億92百万円(対前年同期比22億6百万円増)となりました。特別損失に、テナント退去補償関連費用10億41百万円ほかを計上した結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、42億82百万円(対前年同期比10億21百万円増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、2,233億38百万円で、前連結会計年度末に比べ、153億4百万円増加しました。これは主として、受取手形及び売掛金、商品及び製品、仕掛品の増加、上場株式の株価上昇等による投資有価証券の増加によるものです。有利子負債（借入金）は、789億93百万円となり、前連結会計年度末に比べ、54億85百万円増加しました。純資産は、872億68百万円で、前連結会計年度末に比べ、76億84百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、前回（2017年11月8日）発表の業績予想から変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,225	14,904
受取手形及び売掛金	26,755	29,279
商品及び製品	13,801	15,947
仕掛品	7,689	8,697
原材料及び貯蔵品	11,615	10,113
その他	6,693	7,952
貸倒引当金	△202	△210
流動資産合計	79,578	86,684
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	22,888	22,664
土地	54,987	54,897
その他(純額)	9,501	10,258
有形固定資産合計	87,377	87,819
無形固定資産	186	189
投資その他の資産		
投資有価証券	35,571	43,151
その他	5,905	6,082
貸倒引当金	△585	△588
投資その他の資産合計	40,891	48,645
固定資産合計	128,455	136,654
資産合計	208,034	223,338

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2017年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2017年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,064	12,140
電子記録債務	7,917	11,053
短期借入金	23,039	24,921
未払法人税等	709	370
引当金	1,325	315
その他	11,733	12,012
流動負債合計	59,790	60,813
固定負債		
長期借入金	50,467	54,071
引当金	674	1,117
退職給付に係る負債	6,533	6,503
資産除去債務	218	218
その他	10,766	13,344
固定負債合計	68,659	75,256
負債合計	128,450	136,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,208	28,208
利益剰余金	35,748	38,082
自己株式	△66	△67
株主資本合計	63,890	66,223
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,758	16,864
繰延ヘッジ損益	105	89
土地再評価差額金	3,536	3,464
為替換算調整勘定	159	147
退職給付に係る調整累計額	△1,791	△1,562
その他の包括利益累計額合計	13,768	19,004
非支配株主持分	1,925	2,040
純資産合計	79,584	87,268
負債純資産合計	208,034	223,338

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日)
売上高	107,093	122,530
売上原価	90,592	103,297
売上総利益	16,501	19,233
販売費及び一般管理費	12,427	12,946
営業利益	4,073	6,286
営業外収益		
受取配当金	2,241	561
為替差益	51	588
持分法による投資利益	—	562
その他	343	381
営業外収益合計	2,636	2,093
営業外費用		
支払利息	514	450
休鉱山管理費	399	438
持分法による投資損失	354	—
その他	354	198
営業外費用合計	1,623	1,087
経常利益	5,086	7,292
特別利益		
固定資産売却益	10	8
投資有価証券売却益	0	7
その他	0	—
特別利益合計	11	16
特別損失		
テナント退去補償関連費用	—	1,041
その他	165	224
特別損失合計	165	1,266
税金等調整前四半期純利益	4,932	6,042
法人税、住民税及び事業税	1,082	961
法人税等調整額	477	670
法人税等合計	1,559	1,632
四半期純利益	3,372	4,410
非支配株主に帰属する四半期純利益	111	127
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,261	4,282

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2016年 4月 1日 至 2016年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2017年 4月 1日 至 2017年12月31日)
四半期純利益	3,372	4,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,566	5,109
繰延ヘッジ損益	△819	5
為替換算調整勘定	△1,384	△105
退職給付に係る調整額	418	229
持分法適用会社に対する持分相当額	△284	77
その他の包括利益合計	3,496	5,316
四半期包括利益	6,869	9,726
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,821	9,590
非支配株主に係る四半期包括利益	47	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2016年4月1日 至2016年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	9,106	18,492	18,530	49,719	4,311	3,872
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,097	40	98	143	5	40
計	11,203	18,532	18,629	49,863	4,316	3,912
セグメント利益又は損失 (△)	△294	514	1,755	1,237	0	20

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,305	106,337	755	107,093	—	107,093
セグメント間の 内部売上高又は振替高	101	2,527	1,087	3,614	△3,614	—
計	2,406	108,865	1,843	110,708	△3,614	107,093
セグメント利益又は損失 (△)	956	4,190	△81	4,108	△34	4,073

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△34百万円には、セグメント間取引消去38百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△73百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					
	産業機械	ロックドリル	ユニック	金属	電子	化成品
売上高						
外部顧客への売上高	9,951	22,380	20,514	57,173	4,635	4,748
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,212	38	113	174	1	39
計	12,163	22,418	20,627	57,348	4,636	4,788
セグメント利益又は損失 (△)	171	1,422	1,854	1,402	216	343

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産	計				
売上高						
外部顧客への売上高	2,433	121,837	692	122,530	—	122,530
セグメント間の 内部売上高又は振替高	96	2,676	1,178	3,855	△3,855	—
計	2,530	124,514	1,871	126,385	△3,855	122,530
セグメント利益又は損失 (△)	1,041	6,452	△119	6,333	△46	6,286

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運輸業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△46百万円には、セグメント間取引消去22百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△69百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない「金属鉱山跡資産」及び「炭鉱跡資産」関連費用です。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

前提

		今回予想	対前年同期増減
銅価	第3四半期累計決算 \$/mt	6,273	1,345
	年度予想 \$/mt	6,470	1,324
為替	第3四半期累計決算 円/\$	111.7	5.0
	年度予想 円/\$	111.0	3.5

2018年3月期 第3四半期決算短信 補足資料

2018年2月8日

古河機械金属株式会社

〔売上高〕

(単位:百万円 単位未満切捨て)

	2017年3月期	2018年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械事業	46,128	52,846	6,717
産業機械部門	9,106	9,951	845
ロックドリル部門	18,492	22,380	3,888
ユニック部門	18,530	20,514	1,983
素材事業	57,903	66,557	8,653
金属部門	49,719	57,173	7,453
電子部門	4,311	4,635	324
化成品部門	3,872	4,748	876
不動産事業	2,305	2,433	128
その他	755	692	63
【合計】	107,093	122,530	15,436

2018年3月期	
年度予想	対前年増減
71,500	4,696
15,600	1,558
29,500	2,520
26,400	617
89,600	10,631
77,200	9,346
6,200	383
6,200	901
3,000	74
900	83
165,000	15,170

〔営業利益〕

	2017年3月期	2018年3月期	対前年同期増減
	第3四半期累計期間	第3四半期累計期間	
機械事業	1,976	3,448	1,472
産業機械部門	294	171	465
ロックドリル部門	514	1,422	908
ユニック部門	1,755	1,854	99
素材事業	1,257	1,962	705
金属部門	1,237	1,402	165
電子部門	0	216	216
化成品部門	20	343	323
不動産事業	956	1,041	84
その他	81	119	37
(計)	4,108	6,333	2,224
調整額	34	46	11
【合計】	4,073	6,286	2,213

2018年3月期	
年度予想	対前年増減
4,800	1,219
850	745
1,700	802
2,250	328
2,200	329
1,500	238
300	282
400	285
1,250	15
180	53
8,070	1,479
70	25
8,000	1,454